

2024年4月26日

自社パレットリサイクル原料を利用した 乳製品用パレットの導入について ～現行比7.6%のCO₂排出量の削減を実現～

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、三甲株式会社（代表取締役社長 後藤利彦）と協力し、ヤクルトグループ内の破損や劣化したパレット^{※1}を粉砕した原料を活用する、新しい乳製品用パレットを導入します。これにより、パレット製造時に発生するCO₂排出量を削減します。

当社はこれまでもリサイクル原料100%のパレット（現行品）を使用することでCO₂排出量の削減を図ってきました。このたび、自社パレットのリサイクル原料を30%使用することで、バージン原料^{※2}100%のパレットと比較して67.3%、現行品と比較して7.6%のCO₂排出量削減を実現します。今後も同様の取り組みを続け、最終的にはヤクルトグループ内での100%パレット循環を目指します。

※1 製品の輸送や保管などに使用する荷役台

※2 リサイクル原料などの再生素材を一切使わず、新しい原材料のみを使用して製造されたプラスチック

パレット1枚の製造（原料から製品）にともなうCO₂排出量

素材		CO ₂ 排出量
(1) 新規導入品	リサイクル原料70% パレットリサイクル原料30%	8.5kg - CO ₂ ※(2)と比べて7.6%減、 (3)と比べて67.3%減
(2) 現行品	リサイクル原料100%	9.2kg - CO ₂
(3) 参考	バージン原料100%	26.0kg - CO ₂

ヤクルトグループでは「プラスチック資源循環アクション宣言」に基づき、今回の取り組み以外にも、バイオマス素材の使用拡大をはじめ、資源循環しやすい容器包装への転換などの取り組みを進めています。

ヤクルトグループは今後も、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」内で掲げた「世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化」の達成に向けて、地球環境の保全に積極的に貢献していきます。

【プラスチック資源循環アクション宣言】

<https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/environment/plastic/>

以 上